

【提案書作成要領・別紙2】

提案書評価基準

(1) 評価方法

評価委員1人あたり100点満点とし、下記評価項目について評価を行い、合計得点の高い者を特定する。なお、評価委員の過半数が1点とする項目が1つ以上ある場合は、特定されない。

(2) 評価点が同点の場合の措置

評価委員の採点の合計点数が同点の場合、次の順序で上位の提案をプロポーザルの上位者とする。

- ア 加重倍率が5の項目の合計得点が上位の者
- イ 5点の評価点項目が多い者
- ウ 加重倍率が5の項目に2点以下の評価点が無い者

(100点満点)

	項目	(評価の視点)	点数			倍率	満点		
			良い >>	普通 >>	良くない				
提案内容	事業趣旨の理解度	横浜市の目指すブランディングの趣旨及び業務内容を十分に理解しているか	5	4	3	2	1	3	15
	全体計画	ターゲットを適正に把握し、実現性の高い計画を立案しているか	5	4	3	2	1	2	10
	訴求力	新型コロナウイルス感染症の回復期における、横浜への来訪意欲向上につながる企画提案となっているか	5	4	3	2	1	5	25
	独自性	他都市等の事例の分析等を踏まえ、横浜ならではの、独自性ある企画提案となっているか	5	4	3	2	1	5	25
	予算配分計画	上限額(600万円)を踏まえ、事業内容に対し、妥当性があり、且つ効率的な予算配分計画になっているか	5	4	3	2	1	2	10
実施体制	人員体制	業務を遂行するのに十分な人員・組織体制が提案されているか。また、ワーク・ライフ・バランスの取組を推進し、業務の効率化、女性など多様な人材の確保・定着による企画力の高度化が図られているか	5	3				1	5
	スケジュール管理・情報共有	適切なスケジュール管理及び情報共有がなされる業務管理体制が提案されているか	5	4	3	2	1	1	5
	過去の業務実績	本業務を実施するにあたり、過去に類似の広報関連業務の実績があり、ノウハウを活かすことができるか	5	4	3	2	1	1	5
合 計									100